

大和 勲

For ISESAKI & GUNMA

～伊勢崎・群馬のために～

令和7年

県政報告書

23

県が「一歳児保育」に独自予算

「主体性」「やる気」大切に！

大和勲県議は自民党群馬県連の政調会長として潜在保育士の就業支援に力を尽くし、児童クラブを運営して放課後の小学生を見守ってきました。県は新年度当初予算に「保育充実促進費補助」1億3587万円を計上、県議が県議会や党活動で折に触れて求めてきた一歳児の育成に注力する方針を明確にしました。県の新方針を受けて、県保育協議会副会長の三郷こども園長、松本典子さんと前副会長で二葉こども園長、岩内義明さんを交え保育の将来を展望しました。

大和 国は本年度から一歳児の保育士配置基準を児童5人に保育士1人とした場合加算することにします。県は国の基準よりも手厚く、児童4人に保育士1人の当初予算を組みました。少子化の中で、子どもを大切に育てる施策は党の政調会などで常に求めてきました。

松本 一歳児は動き回りたい時期ですから、5人と4人は大違い。園によって保育士を整えられるか差が出るのが危惧されます。**大和** 心配はもっともです。県が潜在的保育士の就業を支援する保育士・保育所支援センターを設置する際も後押しさせていただきました。充実したスタッフは保育に欠かせません。**松本** 時代の変化とともに

岩内 感謝しています。1歳児の保育環境は全国的に改善するでしょう。子ども

「保育環境の充実」歓迎



県議員 大和 いさお

自民党県連は5月15日に役員選考委員会を開き、大和勲県議は総務会長に就きました。県連の幹事長に次ぐ役員ポストで、県連の重要な意思決定などをつかさどる総務会を主宰します。

県連・総務会長に就任

県議は令和4年と5年に党の政務調査会長を務め、県民の要望を県政に生かす窓口となってきました。特に、保育などの子育てや県民の安全安心にかかわる施策には力を入れてきました。

平成27年の初当選から十年余りが過ぎ、県議会でも厚生文化、文教警察、産経土木の常任委員会委員長を務めるなど経験を積んできました。総務会長の重職も「各地区の皆さんに選ばれた県議の声に耳を傾け、県政発展に努めます」と、まっとうする覚悟です。

保護者の協力も不可欠

大和 非認知能力の育成は一面で、子どもがやりたいことを引き出す取り組み。保護者や保育者との勉強会



三郷こども園で、大和県議と幼児保育の近未来を展望した松本典子園長(左)と岩内義明園長(右)。子どもの自主性、主体性をはぐくみながら「自己肯定感の獲得が大切」と語り合いました

も開かれているようです。**松本** 保育園やこども園の年長児が小学校に入学すると、成長にふさわしくない低学年の児童として対応してしまうケースもみられます。小学校の先生と交流を密にしてギャップをうまく埋めていければ、とても良いのでは 않을까。**大和** 私も保育に携わっている一人です。保護者も時代にあった教育を求めているでしょうから、市の教育委員会などに対応を求めていけたらと思います。ところで、保育が多様化するなかで、気になる子どもはおりますか。**岩内** 周りの友だちとうまく交流できないと思われる子どもさんいます。成長にともなって解決していく

子どもに「自己肯定感」を！

大和 子どもたちがのびのびと生活できる環境をつくるのが一番求められているようです。岩内さんが述べられた通り、重要なのは子どもが「自己肯定感」を身につけること。少子化の中で保育の充実が豊かな地域づくりにつながるよう手を携えて進みたいと思います。きょうはありがとうございました。

のか、支援の必要なお子さんなのかは分かりません。**松本** 支援が必要なお子さんの場合、保育の充実を図ることが求められます。**岩内** 子どもたちの細かい点までしっかり見つけたいですね。生活があるので仕事優先になるのは仕方ないのですが、ご両親にもお子さんへの気配りを欠かさないように、切にお願いしたいものです。**松本** ご両親が子どものありのままを受け入れられるのは、時間が必要です。個性と捉えて、ゆっくりでも成長を信じて対応してほしいですね。**岩内** 個性的な子も専門家の後押しで、多少伸びがかわってきます。成長を感じることによって自己肯定感が上がったりする。早め早めの対応が求められます。

堀口交差点の渋滞解消へ

地元住民の願い●県計画に反映

ぐんま・県土 整備プラン 2025



県議員

大和 いさお

朝夕の激しい交通渋滞が続く堀口交差点。歴代区長と大和県議は知恵を絞って対策を県に要望、10年の努力が実って県の整備計画に盛り込まれました。左から二人目の大和県議を挟んで、福島順一、野村昇、太田守人、野村孝夫の歴代区長

大和県議は快適で安全な市民生活に直結する道路や河川の整備を重視しています。県議会の一般質問や日々の議員活動でも、地元住民の切実な要望を県につなぎ「実現」に努めてきました。県はぐんま・県土整備プラン2025をつくり、4月1日から施行。地元名和地区の歴代区長の念願だった県道伊勢崎本庄線「堀口交差点」の改良も盛り込まれ、大和県議は「朝夕の渋滞が激しい交差点。一日も早く要望を実現したい」と力を込めます。

堀口交差点は南北を結ぶ同県道と東西をつなぐ旧国道354号(県道綿貫篠塚線)が交差する四つ角です。4方向の道路はすべて片側一車線で、朝夕は通過車両が多く、右折するクルマが一台あると後続車で地域全体の交通環境が良く

付ける提案を要望しました。もちろん県議との相談をベースにしており、「道路の拡幅に向けた20人近い住民の同意書も添付しました」と当時を振り返ります。

前区長の福島順一さん(75)は「昨年11月と12月、自宅の駐輪場にカメラを設置、独自に交通量を調査しました。朝夕の通勤時間帯は、200以上クルマが並ぶのが常態化し、信号交差点を抜けるのに時間がかかる状況を可視化できた」と話します。

最年長の元区長、野村昇さん(79)は「南北の県道も、東西の旧国道も幹線道路。通勤通学のクルマは年々増えてきているようだ」と、この10年間の体感を語り、堀口交差点

の改良が「地域住民の生活改善につながる良い」と期待を寄せます。

大和県議は横断歩道などの塗り替えを初め、交通事故が目立つ県道綿貫篠塚線の変則交差点(中町)や茂呂小学校に隣接する県道伊勢崎深谷線の交差点(茂呂町2丁目)などの改良も粘り強く県に求めています。交通環境の整備が「市民生活の改善に直結する」と捉えているからです。

中でも、堀口交差点の改良は歴代区長と歩調を合わせたシンボリックな議員活動。大和県議は「住民の生活改善と子どもを含めた住民の安全安心の確保をしっかり果たしたい」と、自らの重要な政治課題と位置付けています。

一般質問で山本知事に 県職員の兼業求める

大和県議は5月29日、群馬

県議会で一般質問に臨み、山本一太知事に5月上旬の米国訪問、デジタルクリエイティブスクール、県職員の兼業に

ついて問いかけてきました。

知事は県職員の能力を高く評価しており、大和県議は「優秀な職員の能力を地域に還元し、地元の元気や豊かな生活



石破首相は1月の施政方針で地方公務員の兼業、副業について弾力化を表明しており、知事に「県職員の柔軟な働き方」を求める大和県議

に役立ててほしい」と兼業の推進を求め、知事は「県民の幸福度向上に向けて職員が能力を高め、公以外でも活躍してほしい」と応じました。

また、県議は県土整備部長に茂呂町2丁目交差点と堀口町交差点の改良について質問したほか、ナショナルサイタルルート、ガーデンツーリズムなど他県にまたがる事業の推進も求めました。子ども施策として「1歳児保育の充実」や県民生活を支える「上水道施設の老朽化」も取り上げました。多くの支援者が議場を訪れ、県議の質問を傍聴しました。

群馬県議会議員 大和 勲 事務所

～伊勢崎・群馬のために～

大和 勲

検索

伊勢崎市山王町 1142-6 (あすなろ館児童クラブ内)

電話 0270-23-7797 FAX 0270-27-5260

メールアドレス info@isao-y.net

ホームページアドレス https://www.isao-y.net/



ホームページ